

↓町誌の活用方法等について話し合った座談会



14年間の偉業を祝して

## わかさ美浜町誌 完成記念事業

「わかさ美浜町誌」は、平成9年に編纂事業が始まり、本年7月に最終巻が刊行されました。11月3日に、全11巻13冊に及ぶ編纂作業の終了を祝う完成記念事業がはあとびあで行われ、記念式典や講演会、座談会が開催されました。

記念式典では、町誌監修者の須田悦生さんと編纂委員の方々に、山口町長から感謝状が授与され、その後、須田さんによる記念講演会が開かれました。

また、編纂委員の方々を交えた座談会では、編纂に当たっての苦労話や町誌の今後の活用方法等について話し合われました。活用方法については、「生涯学習センターの講座で活用してほしい」や「町誌の活用法コンクールを開催してほしい」、「編纂の過程で収集した民謡やわらべ歌を保育園で歌うようにしたらどうか」等の提言がありました。

まちの話題をお知らせします。



↑町誌の監修を通して、美浜の文化力の高さを認識したと語る須田さん

↓焼き芋おじさんと年長組園児の記念写真



焼き芋おじさん来園

## 焼き芋パーティー

10月27日に、せせらぎ保育園で園の野菜畑で収穫したサツマイモを味わう焼き芋パーティーが開催されました。

パーティーには、新庄の焼き芋おじさんこと藤本悟さんが登場。持参の石焼き芋機で、約200本の芋をホクホクの石焼き芋にしてくださいました。

焼き芋おじさんから、できたてホカホカの焼き芋が手渡されると、園児たちは笑顔でかぶりつき、秋の味覚を楽しんでいました。

なお、藤本さんは、別の日にみずうみ保育園と子育て支援センターでも、焼き芋を作ってくださいました。

↓餅つきを楽しむ親子



地域のおいしいちゃん、おばあちゃんも参加

## ちびっこもちつき大会

11月9日に、子育て支援センターで餅つき大会が開催され、約110人の親子が参加しました。

このイベントは、親子で日本の伝統文化を楽しみ、地域の方々と世代間交流を図ることを目的に開催され、啓成地区老人会や美浜ライオンズクラブの会員の方々も参加しました。

餅つきでは、地元でとれた約15kgのもち米を3回に分けてつき、きなこ餅やぜんざいに仕上げました。

子どもたちは、大人に支えてもらい杵で餅をついたり、でき上がった餅を地域の方々と一緒に味わう等して、少し早いお正月気分を楽しんでいました。

↓ 消火器取扱訓練



地域防災力の向上を目指して

## 防 災訓練(北地区)

11月13日に、北地区を対象とした防災訓練が実施されました。

今回の訓練では、美浜町を震源とする震度6強の地震が発生し、家屋の倒壊や道路の損壊、火災が発生したとの想定で、災害情報の伝達や住民避難等の訓練を行いました。また、避難所となった北小学校では、災害時に備えた救護・救出訓練や消火器取扱訓練、松森和人さん(まちの防災研究会代表)による「災害から命を守る」と題した講演会等も行われました。

参加された方々は、熱心に訓練を受けながら、災害と防災に対する認識を深めました。

↓ 救出訓練では、がれき等で下敷きになった人の救助法を学びました。



↓ 災害から命を守るには、「災害をあまく見ない」・「対処法を正しく学ぶ」・「地域とつながる」ことが重要だと講演する松森さん



↑ 甲冑を着て、キャンペーンレディらとの記念撮影

戦国ふくいイベント

## お江とレインボーラインを歩こう!

10月30日に、「お江とレインボーラインを歩こう!」と題したウォーキングイベントがレインボーラインで開催されました。

当日は約130人が参加。日向ゲートを発着とした往復約8kmのコースを歩き、眼下に広がる三方五湖の景色を楽しんでいました。

また、梅丈岳山頂では、お江ら浅井三姉妹に扮した「へしこの町美浜町キャンペーンレディ」との記念撮影や、へしこ入りおにぎりの無料配布等も行われ、参加者は戦国気分と地元の特産品を味わいました。

今年も盛大に開催!!

## 佐 田区カラオケ大会

10月29日に、東小学校体育館で佐田区のカラオケ大会が開催され、約250人の区民が参加しました。

今年で3回目を迎える大会には、15組の歌手がエントリー。その内の5家族は他の地区から佐田へ転入した方々で、自己紹介をかねて歌い、区民との交流を深めました。また、その他に、夫婦でのデュエットや子どもを交えた家族での合唱、衣装での熱唱等もあり、会場は和やかな笑い声と大きな拍手に包まれていました。

※このコーナーでは、地区のイベント等も掲載していきたいと考えています。情報のご提供をお待ちしています!



↑ 4家族と一緒に歌いました♪ (写真提供: 佐田区)